

第1回 那覇港地震・津波防災対策検討協議会の概要

那覇港において、港湾に関係する官民の各機関が一堂に会し、広域的に連携して、ハード・ソフトを含む総合的な津波防災対策の基本的考えを取りまとめることを目的として、地震・津波防災対策検討協議会が下記のとおり開催されました。

記

日 時：平成23年6月30日（木） 14：00～16：00

場 所：沖縄総合事務局（那覇第2地方合同庁舎2号館）3F会議室（A,B）

議 事：

- (1)協議会趣旨設立
- (2)東日本大震災の被災状況と政府の検討状況
- (3)那覇港の津波防災の現状
- (4)沖縄の港湾における総合的な津波対策案の検討に向けて
- (5)今後のスケジュール（案）

[委員からの主な意見は以下のとおり]

- ・本協議会の設立趣旨ならびに今後のスケジュールについて、承認された。
- ・地域の要望として、GPS 波浪計は整備してもらいたい。
- ・GPS 波浪計は沖合 20kmに設置とのことだが、避難時間確保等の観点から、さらに効果を発揮するため、より沖合に設置できないのか。
- ・ねばりづよい防波堤が指針で示される方向性があり、対象となる想定津波に対応できるかを津波浸水シミュレーションにて検証し、結果によっては対応を検討しなければならないかもしれない。
- ・港湾施設の津波に対する機能評価のため津波浸水シミュレーションを実施することだが、沖縄県でも地域防災計画の見直しのため、津波浸水シミュレーションを実施する予定がある。両者目的、手法は違うものの、避難計画策定がスムーズに進むように、作業部会等を活用し情報共有を図りながら実施すること。
- ・港湾地区においては、近傍に避難ビルが少なく、東日本大震災の事例では車で避難して被災された方もいるそうなので、徒歩で行ける範囲に避難施設を整備してもらいたい。
- ・第十一管区海上保安本部において「那覇港台風及び津波対策員会」の中で船舶の避難に関する安全確保に努めているので、本協議会の陸側の避難と両者で情報共有を図り実施してもらいたい。

添付資料

【資料－1、議事次第、配席図、出席者名簿】

【[資料－2](#)、[別紙1](#)、[別紙2](#)】協議会設立趣旨

【[資料－3－1](#)】東日本大震災の被災状況と政府の検討状況

【[資料－3－2](#)】那覇港の津波防災の現状

【[資料－4](#)】沖縄の港湾における総合的な津波対策案の検討に向けて

【[資料－5](#)】今後のスケジュール(案)